

2025年12月14日(日)  
日本キリスト教団 久宝教会  
第68巻第35号(通算3472号)  
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072  
大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10  
TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135  
郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」  
【集会案内】こどもの礼拝:毎日曜10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください  
主日礼拝:毎日曜10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

# しゅうほう 週報

教会標語

ちい 小さくされている人を  
たいせつ ひと  
大切にする教会



ホームページ「久宝教会」  
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>  
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

谷はすべて埋められ、山と丘はみな低くされる。曲がった道はまっすぐに、  
でこぼこの道は平らになり、人はみな神の救いを見る。(ルカによる福音書3:5-6)



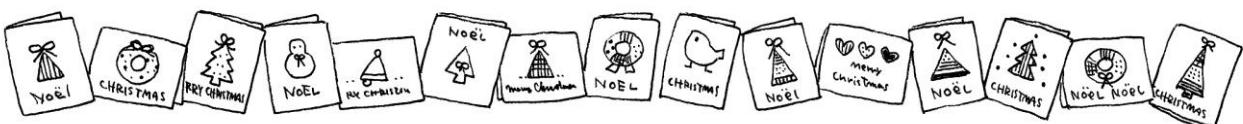
## たいこうせつ 待降節 だい しゅじついはい 第3主日礼拝

ほんじつ れいはい  
《本日の礼拝は、インターネットでの録画配信のみです。  
じはん はいしん  
10時半より配信いたしますので、ホームページにて  
しちょう  
どなたでもご視聴いただけます。》

まね ことば  
招きの詞 詩編  
てんとう  
クリンツ点灯のことば  
せいしょ  
聖書  
メッセージ 「おめでとう、恵まれた方」  
しゆくふく  
祝福

へん せつ  
85編 9-12節  
しょう せつ  
1章 26-38、57-66節  
うしだ ただし ぼくし  
牛田 匡 牧師

\* 今週は「**ささげもの** (献金)」は、集めません。  
じしゅういこう ささげもの  
次週以降におさげてくださいか、郵便振替をご利用ください。  
ゆうびんふりかえ りょう



## 招きの詞 詩編 85 編 9-12 節 (聖書協会共同訳)

- <sup>9</sup> 主なる神が何を語られるかを聞こう。／主は平和を語られる  
その民に、忠実な人たちに。／彼らが愚かさに戻らないように。  
<sup>10</sup> 確かに、救いは主を畏れる者に近く／栄光は私たちの地に住む。  
<sup>11</sup> 慈しみとまことは出会い／義と平和が口づけする。  
<sup>12</sup> まことは地から芽生え／義は天から目を注ぐ。

### クリスマスのことは

神様、今私たちは 3 本目のろうそくをともしました。あと 1 本でクリスマスです。クリスマスには、イエス様によって暗闇に光が与えられました。その光と喜びを、みんなで分かち合っていきますように。

## 聖書 ルカによる福音書 1 章 26-38, 57-66 節 (聖書協会共同訳)

<sup>26</sup> 六か月目に、天使ガブリエルは、ナザレというガリラヤの町に神から遣わされた。<sup>27</sup> ダビデ家のヨセフと言う人のいいなずけであるおとめのところに遣わされたのである。そのおとめの名はマリアと言った。<sup>28</sup> 天使は、彼女のところに来て言った。「おめでとう、恵まれた方。主があなたと共におられる。」<sup>29</sup> マリアはこの言葉にひどく戸惑って、これは一体何の挨拶かと考え込んだ。<sup>30</sup> すると、天使は言った。「マリア、恐れることはない。あなたは神から恵みをいただいた。」<sup>31</sup> あなたは身ごもって男の子を産む。その子をイエスと名付けなさい。<sup>32</sup> その子は偉大な人になり、いと高き方の子と呼ばれる。神である主が、彼に父ダビデの王座をくださる。<sup>33</sup> 彼は永遠にヤコブの家を治め、その支配は終わることがない。」<sup>34</sup> マリアは天使に言った。「どうして、そんなことがありますでしょうか。私は男の人を知りませんのに。」<sup>35</sup> 天使は答えた。「聖霊があなたに降り、いと高き方の力があなたを覆う。だから、生まれる子は聖なる者、神の子と呼ばれる。<sup>36</sup> あなたの親類エリサベトも、老年ながら男の子を身ごもっている。不妊の女と言わっていたのに、もう六か月になっている。<sup>37</sup> 神にできないことは何一つない。」<sup>38</sup> マリアは言った。「私は主の仕え女です。お言葉どおり、この身になりますように。」そこで、天使は去って行った。

<sup>57</sup> さて、月が満ちて、エリサベトは男の子を産んだ。<sup>58</sup> 近所の人々や親類は、主が彼女を大いに慈しまれたと聞いて喜び合った。<sup>59</sup> 八日目に、幼子に割礼を施すために人々が来て、父の名を取ってザカリアと名付けようとした。<sup>60</sup> ところが、母親は、「いいえ、ヨハネとしなければなりません」と言った。<sup>61</sup> 人々は、「あなたの親族には、そのような名の人は誰もいない」と言い、<sup>62</sup> 父親に、「この子に何と名を付けたいか」と手振りで尋ねた。<sup>63</sup> 父親は書き板を持って来させて、「その名はヨハネ」と書いたので、人々は皆<sup>a</sup> 不思議に思った。<sup>64</sup> すると、たちまちザカリアは口が開き、舌がほどけ、ものが言えるようになって神をほめたたえた。<sup>65</sup> 近所の人々は皆恐れを抱いた。そして、このことすべてが、ユダヤの山里中で話題になった。<sup>66</sup> 聞いた人々は皆これを心に留め、「この子は一体、どんな人になるのだろうか」と言った。主の御手がこの子と共にあった。

(脚注 a: 別訳「驚いた」)

「神は決して諦めない」

牛田匡牧師

聖書 エレミヤ書 36章 1-8, 22-28節

今回のお話は、紀元前の6世紀頃の南ユダ王国、王に対して耳の痛い神からの預言を伝えた預言者エレミヤと、その弟子のバルクの物語でした。エレミヤは神から預言の言を記して、王に伝えるように命じられ、バルクに口述筆記させて巻物を完成させます。そしてその言葉を聞いた国の高官たちは、巻物を預かって王にも読み聞かせましたが、王は聞いたそばから巻物を切り裂いて、暖炉で燃やしてしまいました。エレミヤとバルクはその報せを聞いて落胆したでしょう。しかし、その二人に対して、「もう一度、別の巻物に全ての言葉を書き記せ」と神からの命令が下り、二人は再び巻物を完成させました。このお話を、現代を生きる私たちに告げていることは何でしょうか。それは「神の言（神の力の働く出来事）は決して無くならない」「神は人々の救いを決して諦めない」ということ、ではないでしょうか。

長年取り組んできたものが、ある日突然に失われてしまうことがあります。そのような時、私たちはそれを諦めることもできますし、また一方で「もう一度やってみよう」と思うこともできます。もちろん、自分一人の力では無理かもしれないけれど、仲間たちと一緒にならば、何とかやれるかもしれない。そのような「何とかやれるかもしれない」が積み重なり、連なり合って来たからこそ、人類の歴史は形作られて来たのだと思います。一見すると、「もう駄目だ」「もう諦めた方がいい」という時でも、それでも「諦めないで、もう一度やってみよう」と思えるのだとすると、それは何故でしょうか。そこには私たち一人ひとりのことを、決して諦めることのない神様が、共におられて働かれているからなのではないかと思います。様々な困難や、理不尽なことは、いつの時代にも多くあります。数年間や数十年間では成果が見られないこともあります。預言者エレミヤやイザヤに告げ知らされていた神の言は、彼らの数百年後の紀元1世紀に、生きた「神の言」イエス・キリストとしてお生まれになりました。この地上を歩まれたその生涯は十字架で閉じられましたが、その命はそこでは終わらず、死から引き起こされて今も、全ての命と共に生きて、働かれています。いつの時代にあっても、神が命を諦めることは決してありません。命の神に支えられながら、私たちは今日もここから歩みを進めて参ります。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



## ◎ 先週の報告 2025年12月7日 第2アドベント礼拝

礼拝出席 大人6人 献金 大人5,300円 中継視聴者数20回 感謝

## ◎ 次週 2025年12月21日(日) クリスマス(降誕日)礼拝

招きの詞 イザヤ書 9章1,5節

聖書 創世記1章1-5節、ヨハネによる福音書1章1-5,9,14,18節

メッセージ「クリスマスプレゼントは誰に」牛田匡牧師

賛美歌21-267(©P.D.)、新生180(©バブ連)、「だから今日希望がある」(©JASRAC)

礼拝後に愛餐会(昼食会)があります(無料)(事前のお申し込みは不要です。食事の持ち寄りを歓迎いたします)。

・12月24日(水)や25日(木)には、教会での礼拝は行いませんので、ご注意ください。

## ◎ お知らせ

- これまでの「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分をYouTubeでご覧いただくことも可能です。
- 12月の釜ヶ崎支援のための「おにぎり作り」は、休会です。釜ヶ崎・いこい食堂では毎年12月のクリスマスには、諸教会や諸団体、賛同者の方々から集められたお弁当を、お配りしています。今年も日本コイノニア福祉会の3施設(旭丘まぶね保育園、特別養護老人ホーム大阪好意の庭、特別養護老人ホーム第二好意の庭)から、65食のお弁当を作り、クリスマス当日の25日にお届けする予定です。
- 今年も「クリスマス献金」を集めています。献金先は昨年度と同じく「関西学院大学神学部後援会」「日本基督教団部落解放センター」「一般社団法人神戸国際支縁機構」「生活困窮者支援(釜ヶ崎への毎月のおにぎり支援基金、他)」「関西労働者伝道委員会」「アハリー・アラブ病院を支援する会」「ナルド献金(大阪教区・互助特別献金)」の7団体です。各団体の詳細や活動内容については、それぞれの団体のチラシや、ウェブサイトなどを、ご参照ください。



## ◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
12/21	牛田匡牧師	クリスマス礼拝・ユーカリスト 愛餐会 14時~キッズクリスマス
12/28	牛田匡牧師	歳末礼拝・誕生者祝福式
26/ 1/4	牛田匡牧師	新年礼拝・ユーカリスト 教会を考える会
1/11	牛田匡牧師	おにぎり支援?

